



みとこ

佐野市立三好小学校
校長室だより

令和2年3月10日号

4月からの自分のために、今を大切に

「自由がいいな。」「早く休みになんないかな。」「もっと休みがあればいいのに。」という声を聞きます。突然できたたくさんの時間大切にしているのでしょうか。

与えられたことに対して行動を起こすのは、とても良くできています。宿題があれば、問題を解いて翌日提出できています。しかし、今は、毎日宿題が出るわけではありません。やるべきことがないなら、・・・愉快的エンターテインメント、娯楽に心も頭も誘惑され、ついつい手が伸びてスイッチを入れてしまうでしょう。良くできた映像や中身に支配され、離れがたくなってしまう。仕方がない。と諦めるのは簡単ですが、なんとかしたい。時間管理のできているお子さんも多数いるとは思いますが。

子供は、どんな新学期を迎えたいのでしょうか。新たな学年で、新しい学び舎で、初めて会う隣の子と、どんな挨拶をしようと考えているのでしょうか。

2月までの学びをもとに進むであろう4月からの学びにどう臨むのか。登校時に元気な挨拶をして、4時間学び、給食をとり、午後の授業がまたある。その間、体育もあり、図工もあり、音楽もあり、体力もしっかり維持していなければいけない。創造力も伸ばしたい。どうだろう？

この新型コロナウイルスに、私たち人間は試されているのかとも思っています。冷静に怖がりながら、今の自分ができることを自分自信で考え、行動に移していく必要があるのではないのでしょうか。

三好小に在籍する一人一人として、その子なりに考えてほしいのです。

新年度に向けて、各学年なりの思いをもち、小さなことから実行してほしいのです。

これからの社会でも、堂々と胸を張って生きていってほしいとの思いから書きました。

学校のホームページも時間がありましたら、のぞいてください。

閉校を目前に

記念の行事。開催できなく多くの方にご迷惑をおかけしました。楽しみにしていた方や練習をしていた児童には、悲しい思いをさせてしまいました。

三好小146年の歴史を思う気持ちは、絶対に忘れてはいません。

元校長先生方から、「保護者の皆様、地域の皆様にお世話になりました。」との連絡を多数受けています。



右は、今から50年ほど前の写真です。